

大学院特別講義

日時： 令和 7 年 10 月 22 日（水） 15 : 30 ～ 17 : 00
場所： 静岡県立大学 小講堂
世話教室： 創薬探索センター
対象： 大学院生、学部生、教職員等、
学外からの参加も歓迎致します。

演題： 全身疾患としてのがん ―転移と悪液質（カヘキシア）の
理解に向けて―

講師： 青木正博 先生
愛知県がんセンター研究所 副所長
兼 がん病態生理学分野長

概要：がんは局所に発生しますが、全身に大きな影響を及ぼします。私たちは、全身疾患としてのがんに着目し、特に転移と悪液質（カヘキシア）を研究しています。転移を伴うがんは予後が悪く、がん研究において最大の課題の一つです。私たちは肝転移を生じる大腸がんモデルマウスを開発し、解析から幹細胞性と転移能に関わる複数のシグナル経路を同定しました。遺伝子改変モデルと多層オミクス解析を組み合わせ、病態の本質に迫っています。また、進行がんでは全身の炎症や代謝異常により筋萎縮を伴う体重減少、すなわち悪液質が生じ、患者の生活の質や生命予後に大きく影響します。複数のマウスモデルや患者検体の解析から、特に肝臓で顕著な代謝変動が起こることを見出しました。本講演では、これらの研究成果を概説し、基礎から橋渡し研究にまたがる最新知見を共有するとともに、新たな予防・治療法開発の展望を議論します。

本講義は薬科学特論および薬学セミナーの対象となりますので、対象者はセミナーカードをご持参ください。

問い合わせ先： 静岡県立大学 薬学研究院
創薬探索センター 浅井 章良
Tel: 054-264-5231
E-mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp